

令和4年度（公財）全国高等学校体育連盟フェンシング専門部
指導者研修会実施報告書

1. 期 日 令和4年11月25日（金）～27日（日）3日間
2. 会 場 京都府京都市 元京都市立山王小学校
3. 講 師 富田 弘樹さん（愛知工業大学名電高等学校教諭）
4. 参加者 21名（北海道1、関東3、東海2、北信越4、近畿5、中国4、四国2）
5. 講義の様子（写真）

（1日目：25日）



教室にて1時間半ほどコーチングの講義



体育館に移動してポジションを中心とした講習

（2日目：26日）



午前中の講習の前の講義の様子



全員の前にて模範のレッスン



↑→龍谷大付属平安高校の生徒へのコーチング



(3日目：16日)



最終日の講習、戦術を盛り込んだ選手が判断するレッスンの実践。

6 講習会の内容（ごく簡単にまとめました）

1日目：

「フェンシングはロジカル＋フィーリング」から始まり、富田先生の目標「フェンシングによって人生が豊かになる」という話から講義がスタートしました。「Teaching」と「Coaching」の違いや「GROWモデル」など理論的な話が中心となりました。また、この理論が3日間の講習の根底となる一貫した礎になりました。講習では、ポジションがメインの内容となりました。

2日目：

体育館にて講義を混ぜながらの実際の講習を実施しました。アンギアルド、ディスタンスのポイントの講習をおこない、ナショナルチームでも大切にしている「3つの共通認識」についての講義と講習をおこないました。午後からは龍谷大学附属平安高校の生徒を招いてのコーチングを実施するため、「戦う方法」「戦う武器」「戦う姿勢」の講義も午前中に行いました。

午後からは、平安高校の生徒に参加してもらい、富田先生による「制限付きファイティング」を用いての選手に気付かせ、考えさせるコーチングを実際に行いました。高校生も積極的に参加していただき、しっかりと発言する姿がありました。実際の富田先生のコーチングの様子を学ぶことができました。いままでに研修会にはなかった内容が盛り込まれ充実した1日講習になりました。

3日目：

最終日でしたが、盛りだくさんの内容の半日となりました。選手が判断し、戦術を盛り込んだレッスンの取り方については多くの参加者から難しいという感想がありましたが、同時に時間がかかるがずっと取り組むべき内容であるという認識もできました。講習生からの要望である、フルーレのフレーズの考え方と選手の動き、考え方、褒め方、メンタルトレーニングなど多岐にわたる内容となりました。

まとめ：

コロナ禍により3年ぶりの研修会実施となりましたが、今年度より指導者を目指す学生の参加や日帰りの参加形態など門戸を広げたこともあり、20名を超える幅広い年齢層の講習会となりました。多くの参加者の感想にもあるとおり「Teaching」と「Coaching」の違い、教えずぎない、気付かせる、考えさせることの大切さについて特に心に残りました。しかし、「Teaching」も必要であり、どの場面で、どのように使っていくかの講義もありました。いままでの伝統的なフェンシングの考え方に「現代の高校生」「現代のフェ

ンシング」に合った考え方がミックスされた分かりやすく、充実した研修会でした。研修会を実施するにあたり富田先生に講習のテーマをお願いしましたが、「選手とともに成長するコーチング」というテーマどおりの研修会でした。終わってみれば自分たちが富田先生から「気づき、考えさせられるコーチング」をしてもらい成長した3日間でした。

すばらしい内容であったため、**来年度も講師として富田先生をお招きし、同時期に指導者研修会を実施する予定です。開催地についてはホテル代などの関係で調整しておりますが、絶対に参加すべき、参加することで自分も成長できる研修会です。来年も多くの方の参加をお待ちしております。**

【受講者感想（原文ママ）】

今回の研修でもっとも印象に残った内容があれば記入してください。

- ・コーチングについての説明が分かり易く、今まで感じていた指導におけるいろいろな疑問解決の参考になった。
- ・GROWモデルに基づいた選手との向き合い方
- ・一番印象に残ったのは「コーチング」でしょうか。言ってしまう方が手っ取り早いので、ほとんどティーチングで来たように思います。
- ・フェンシングの考え方としてのアクションとリアクション
- ・コーチングとティーチングの違い

研修会全般の感想をお願いします。

- ・一度は富田さんの研修を受けてみたいと思っていたので、絶好の機会だった。技術指導だけではなく、メンタルのことや制限付きファイティングの実例も学ぶことができ充実した研修だった。日程的にもちょうど良い内容だったと思う。
- ・フェンシングの競技としてのゴールである「フィニッシュ」の練習が大切であると感じました。技能面、選手と向き合う上でのメンタリティ、ともにとても勉強になり、自分にとってとても有意義無時間でした。
- ・とにかく目から鱗状態です。なぜ愛工大名電が強いのがよく分かりました。全てにおいてタメになることばかりで、何とか記憶に留めておくように文章化しようとしています。大学生の若い指導者が参加していて今までの講習会と雰囲気が変わったように思います。今回自校の外部指導者の西山君が参加するとの事と一緒についてきましたが、参加して良かったと思います。高体連指導者講習会では藤澤先生に教えて頂いたことを見よう見まねで生徒に伝えて来ましたが、話の内容や考え方の大元は一緒であると感じながら、富田先生が理論的にかつ試合で勝つにはどうしたら良いかと言う内容も含めてくださったので大変参考になりました。
- ・フェンシングに関する、特にレッスン時に考えるべきことを、今まで全然考えていなかったことに気づくことができた。その動作にはどのような意図があるのか、何を生徒に伝えたいのかを今一度考えるようになった。
- ・講師の先生の説明が全般的に聞きやすく、わかりやすかった。

今回の研修を今後どのように活かしていきたいと考えていますか？

- ・今までの指導が、ティーチングに偏っていたと思うのでコーチングを意識してみたい。制限付きファイティ

ングもさっそく試してみたい。

- ・生徒一人一人の目標を自分が把握していないことを自覚しました。帰ったらまず、選手らに目標と現状について話を聞きたいと思いました。

また、選手の Option を増やすために、自分自身の知識量を増やしていきたいと思いました。"

- ・いろいろあり過ぎて、どこから手をつけて良いか分からない状態ですが、前述した通りに内容を整理したうえで、外部指導者と話をしながら練習に取り入れて行きたいと思います。
- ・レッスン時の自分の動作の一つ一つに意図を持つこと。また生徒が伸ばしたい技がある時には、それと並行してやらなければならないことを伝えて生徒が考えて理解してもらうように心がけること。
- ・ティーチングの場面とコーチングの場面を使い分けていきたい。

開催時期はどうか？

- ・ 考査期間で部活動が休みになるのでちょうど良い。
- ・ テスト期間で練習がないため、ありがたかったです。
- ・ 開催時期は良いと思います。
- ・ 中間試験期間ではありましたが、幸い都合が合ったので参加させていただいた。
- ・ あまり寒くなる前でよかった。

開催場所はどうか？

- ・ 京都駅から近いのでとても良い。
- ・ 駅から近くて助かりました。
- ・ ホテルから歩いて近いのがとても良かったです。
- ・ 最寄りが京都駅で駅からも近いので行きやすかった。
- ・ 岡山からだとは京都は行きやすいのでよかった。

研修会に対する要望などがあれば記入してください。

- ・ ぜひ来年も富田さんの研修に参加したい。制限付きファイティングの例もいろいろと教えてもらいたい。
- ・ 富田先生の実際のレッスンについて、動画とともに解説してくださるとありがたいです。
ありがとうございました。来年度もよろしくお願いします。
- ・ 高校ではフルールがメインであるようなので厳しいかと思うが、ぜひエペサーブルの指導者研修があればいいと思う。
- ・ コロナ禍で中断したため、久しぶりの開催がありがたかった。
- ・ これからも継続的に開催してもらいたい。

【研修の前に参加者への要望アンケート】

※研修前に富田先生に連絡し、すべての内容を研修に盛り込んでいただきました。

- ・生徒にフルーレの攻撃権を教えるための指導法を学びたい。
- ・練習計画や練習内容（日常、試合前）などについてどのような点を考慮すればよいか教えて欲しい。
- ・審判をする時、どういったところを注意して見ているか等があれば教えて欲しい。
- ・高校初め（初心者）の生徒に指導する際に気を付ける点があれば教えて欲しい。
- ・大会に出場する生徒の指導法。レッスンからファイティングにどうつなげるように指導するのか。 など
- ・フルーレのルールや審判について主に教えていただきたいのですが、フェンシングをするにあたってのウォーミングアップや、怪我防止のための練習後のダウンメニューも教えていただけたら幸いです。よろしくお願ひ致します。
- ・フルーレにおける、バックステップの継続・非継続の見分け方を指導してもらいたい。
- ・速いアームワークを身につけさせるにはどうしたらいいか？
- ・高校スタートの選手への指導をする上で、意識することや留意すべきことは何か？
- ・ポイント精度を高めるレッスン方法について指導してもらいたい。
- ・間合い感覚をつかむためのレッスン方法について指導してもらいたい。
- ・自分が後退動作中に、相手のアタックを誘う技術の練習方法を指導してもらいたい。
- ・最近のフルーレでの戦術の傾向およびそれを踏まえた指導について説明していただければと思います。
- ・フルーレの審判について指導してもらいたい。特に、攻撃権をどういう動きで失うのかについてご教示していただきたいです。また、指導者ではなく学生ですが参加させていただきたいです。よろしくお願ひいたします。
- ・大会でのベンチワーク（対選手・対審判）について教えていただきたい